

公益社団法人 日本動物学会  
平成 27 年度 第一回理事会議事録

- 1.開催された日時 平成 27 年 8 月 31 日（月）16：00-16：45  
2.開催された場所 東京大学武田洋幸会長研究室 3 理事総数及び定足数  
総数 18 名 定足数 9 名  
4 出席理事数 11 名

(出席) 山下正兼、田村宏治、出口竜作、武田洋幸、窪川かおる、筒井 和義、浅見崇比呂、  
沼田英治、倉谷 滋、富岡憲治、尾崎浩一

(監事出席)阿形清和、長濱嘉孝

議題

審議事項

- (1) 第一号議案 平成 26 年度公益社団法人 日本動物学会事業活動報告（案）について

(武田会長) 第一号議案は事業活動報告についてです。蟻川庶務がノルウエーへ  
ご出張であるため、代わりに沼田副会長にご説明を頂きます。

(沼田副会長) 平成 26 年度事業活動を本部としての活動、支部そして委員会活  
動の御報告に沿って、まとめています。ご報告いただいた内容などもう一度ご確認  
いただきたいと思います。併せて、8 月 21 日、28 日長濱、阿形両監事に監査を  
お願いし、その監査報告もご覧ください。

なにかご質問はございませんか。

(武田会長) では、平成 26 年度 公益社団法人 日本動物学会事業報告（案）を  
お認めいただけますでしょうか。では、事業報告案は承認されました。

- (2) 第二号議案 平成 26 年度 公益社団法人 日本動物学会 決算報告書（案）につ  
いて

(武田会長) 引き続き、平成 26 年度決算報告案について、出口会計担当理事から、  
ご説明を頂きたいと思います。では、出口理事、お願いします。

(出口会計担当理事) 理事の皆様には、黒字となりましたことを最初にお伝えしたい  
と考えます。仙台大会のご尽力、**科研費から、ジャーナル編集費として賄えたもの  
が一部あり、今回の収支となりました。**併せて、Zoological Science 出版費の削減（前  
期はまだ数字上に明確には表れていませんが）BioOne 購読料が順調であったことも  
大きな要因となりました。ご注目いただきたいのは、寄付金に関してです。前年比  
65 万円増である点は重要です。その上で、ご寄附を活動にまわす、つまり、公益  
社団として必要な公益活動への支出も十分に行われております。さらに、本年度は  
国際会議準備年となること、また Zoological Letters APC の一部負担もあり、黒字  
での繰り越しは、本会にとって、大変良いことであったと考えます。ただし、収入

増加は、一時的な影響に過ぎないことも、見逃せません。会費収入は落ちており  
ます。なお、支部活動費にあたります支部会費の増収については、前期は、6月まで  
に入金された支部会費（本来は今期分にあたるもの）を前期の収入としているため  
であること申し添えます。支部会費は、「前受金」の概念がないためであり、2015  
年6月末日までに納入された翌年会費は「前受金」としますが、支部会費は、6月  
までの入金を前年度分として処理を行っております。

ご質問はございますか。

(武田会長) 皆様、いかがでしょうか？阿形監事、長濱監事、監査報告について補足  
説明はございますか。

(阿形監事) 理事の活動、併せて収支状況や会計処理についても監査をいたしました  
が、本会定款に則り、特に公益活動という点において、適正に活動等が行われてい  
ることを確認しました。

(武田会長) 阿形監事ありがとうございました。理事の皆様、いかがでしょうか。で  
は平成26年度公益社団法人 日本動物学会決算報告案をお認めいただけますで  
しょうか。決算案は承認されました。では、議題は2件でございましたので、平成2  
7年度第1回理事会は終わります。理事の皆様にはご参集をありがとうございました。

平成27年8月31日

議長

議事録署名人

議事録署名人